

市誌編さんだより

「高浜市誌 第二巻」の編さんから約40年。いよいよ本格的に市誌編さん事業がスタートしました。今後、奇数月の1日号にて編さん状況を紹介します。



↑古い写真に見入り「懐かしい!」と声をあげる、編さん委員や市民の皆さん

◆第2回高浜市誌編さん委員会を開催◆

実際に調査や執筆をする「高浜市誌編集委員会」の体制案、今後の事業スケジュール、収録内容案の3点を主に検討しました。今後は、以下の4つの視点を意識して資料調査や執筆活動に取り組めます。

《編集に向けた4つの視点》

歴史資料の調査・研究に着手する

貴重な資料が散逸・消失する前に調査・研究を行い、今後、資料保存・活用を継続する第1歩とします。

原始・古代から現代までを振り返る

旧町誌・市誌以降の新しい研究成果から、「大家族たかはま」にいたる地域社会の変化をみつめます。

ものづくりのまちとして

これまでまちの発展を支えてきた、養鶏や養鰻、窯業など、産業が大きく移り変わっていった姿を明らかにします。

「大家族たかはま」を未来につなぐ

現代史を重視し、これまで守り続けてきた伝統を「思う気持ち」を残します。

★市誌は、専門家の調査だけでなく、市民の調査協力員や大学生、中高生と聞き書き調査・執筆を行います！調査協力や資料提供など、皆さんも参加してください。

◇市誌編さん委員会は傍聴できます！次回は7月14日(金)午前10時～

◇詳しい内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページで紹介しています！

たかはまむらちし ぞうこう
『高濱郷地誌草稿』

高浜市はかつて、高浜村・吉浜村・高取村という3つの村に分かれていました。そのうちのひとつである高浜村は、現在の市誌にあたる『地誌』の刊行を予定していたとみられ、その原稿が長い間郷土資料館に保管されていました。

明治時代に書かれたこの原稿は「下書き」と「清書」があり、「下書き」からは内容を細かく修正したようすが見えます。

このコーナーでは、調査の中で見つかった高浜にまつわる「ヒト・モノ・コト」などの情報を速報として紹介します。

市誌編さんの現場から ①

問合せ先 いきいき広場内文化スポーツグループ ☎52-1111 (内線330)